

FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

GFX 100II

New Features Guide

Version 2.30








本製品はファームウェアの更新による機能の追加／変更のため、付属の使用説明書の記載と一部機能が異なる場合があります。詳しくは下記ホームページから各機種ของファームウェア更新情報をご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/cameras/>

変更項目

GFX100 II Version 2.30 では以下の機能が追加または変更されています。最新の使用説明書は、下記ホームページをご覧ください。

<https://fujifilm-dsc.com/ja/manual/>

No.	概要	GFX100 II 	詳細 	Ver.
1	動画撮影メニューの  動画設定 > F-Log/HLG 撮影に  FLog2C  FLog2C が追加されました。	186	1	2.30
2	 タイムコード設定 > タイムコード同期設定 が USB 機器のタイムコードでも同期できるようになりました。これとともない、クイックメニューとファンクションボタンの割り当てメニューの ATOMOS AirGlu BT と接続がタイムコード同期設定 に変更されました。	211 383 384 387 391	2 18 20 22	2.30
3	Frame.io との接続方法が変更されました。	270 323	5 9	2.10
4	リモート録画機能に 4 画面表示ボタンが追加されました。また、リモート録画機能メニューにクリーン表示モードが追加されました。	306 309	12 13	1.20
5	ネットワーク /USB 設定メニューの Bluetooth/ スマートフォン設定 > ファイル形式選択 に RAW が追加されました。	322	14	2.10
6	セットアップメニューの  基本設定 に ファームウェアアップデート が追加され、ファームウェアの更新方法が変更されました。	336 443	14 15	2.00

追加 / 変更内容















追加または変更になった内容は以下のとおりです。

GFX100 II 使用説明書：📖 186




Ver. 2.30

F-Log/HLG 撮影

F-Log 撮影および HLG (Hybrid Log-Gamma) による映像をどのように記録または HDMI 出力するかを設定します。

設定	説明
 	メモリーカードと外部レコーダーの両方にフィルムシミュレーション映像が記録・出力されます。
  	メモリーカードと外部レコーダーの両方に F-Log で撮影された映像が記録・出力されます。
  	メモリーカードと外部レコーダーの両方に F-Log2 で撮影された映像が記録・出力されます。
  	メモリーカードと外部レコーダーの両方に F-Log2 C で撮影された映像が記録・出力されます。
  	メモリーカードと外部レコーダーの両方に HLG で撮影された映像が記録・出力されます。



- **F-Log**、**F-Log2** および **F-Log2 C** は、撮影後の映像処理 (ポストプロダクション) を前提としたやわらかいガンマカーブで、広い色空間の映像になります。
 - **F-Log2** や **F-Log2 C** は、**F-Log** よりもダイナミックレンジが広いガンマカーブです。
 - **F-Log2 C** は、**F-Log** や **F-Log2** よりも、さらに広い色空間の映像になります。
 - ISO 感度は、**F-Log** のときは ISO 400 以上、ISO 12800 以下、**F-Log2** や **F-Log2 C** のときは ISO 800 以上、ISO 12800 以下になります。
- **HLG** (Hybrid Log-Gamma) は、国際標準規格 (ITU-R BT2100) に準拠した動画撮影方式のひとつです。HLG 方式で記録した映像を HLG 対応ディスプレイで再生することで、明暗差の大きいシーンや、彩度が高い被写体においてリアリティのある高品位な映像を表現できます。ISO 感度は ISO 640 以上、ISO 12800 以下になります。
- フィルムシミュレーションの映像 () は、撮影メニューの  画質設定 >  フィルムシミュレーションで選んでいる設定になります。

タイムコード同期設定

外部機器とタイムコードを同期するかどうかを設定できます。

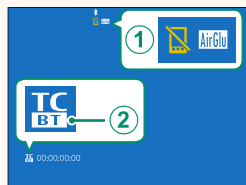
カメラ内タイムコードを使用

外部機器とは同期せず、カメラのタイムコードを使用します。

Bluetooth 機器で同期

ペアリングされている Bluetooth 機器と接続してタイムコードを同期します。

- Bluetooth 接続された機器 (AirGlu) のアイコンが表示されます。スマートフォンとは同時接続できないため、画面に接続できないことを示す黄色のスマートフォンアイコンが表示されます (①)。
- タイムコード同期機器が Bluetooth 機器であることを示すアイコンが表示されます (②)。



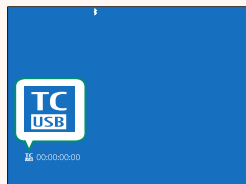
サブメニュー	説明
選択	ペアリングが完了している Bluetooth 機器とタイムコードを同期します。
ペアリング登録	タイムコード同期用の Bluetooth 機器とカメラをペアリングします。


- タイムコード同期機器のアイコンがグレーのときは、Bluetooth 機器と接続していません。
- Bluetooth 機器とのペアリングを解除するときは、ネットワーク / USB 設定メニューの **Bluetooth/ スマートフォン設定** > **Bluetooth 機器一覧**で行います。

USB 機器で同期

接続されているタイムコード同期用の USB 機器とタイムコードを同期します。

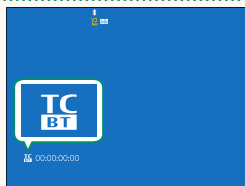
タイムコード同期機器が USB 機器であることを示すアイコンが表示されます。






 タイムコード同期機器のアイコンがグレーのときは、USB 機器と接続していません。

タイムコードの同期状態

タイムコードの同期状態はタイムコード表示の横に表示されるアイコンで確認できます。



アイコン	同期状態
 00:00:00:00 (水色)	同期機器とタイムコードを同期中です。
 00:00:00:00 (白色)	同期機器とタイムコードを同期済みです。
 --:--:--:-- (黄色)	同期機器を選択後にタイムコードを同期できていない状態です。
 --:--:--:-- (赤色)	同期機器とカメラのフレームレートの設定が異なるため、同期機器とタイムコードを同期できない状態です。
 00:00:00:00 (白色)	タイムコードの同期機能を使用していません。 カメラ内タイムコードを使用 を選んでいきます。

Frame.io にファイル転送する

撮影したファイルを Frame.io に転送できます。

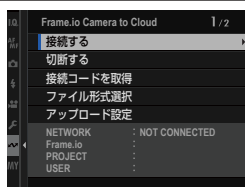
- 無線 LAN で接続する (📖 5)
- 有線 LAN で接続する (📖 7)

 カメラの日付設定をしていない場合は正しい日付を事前に設定してください。


無線 LAN で接続する

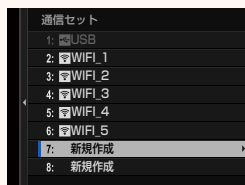
無線 LAN で Frame.io と接続します。

- 1 **Frame.io Camera to Cloud** > 接続するを選びます。

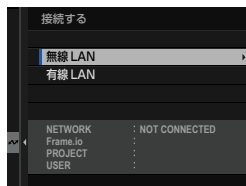


- 2 **新規作成**を選んで通信セットを作成します。

 すでに作成した通信セットを選ぶと、選んだ通信セットの選択や編集ができます。

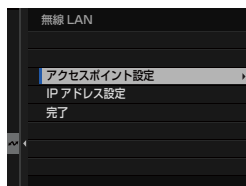


3 無線LANを選びます。




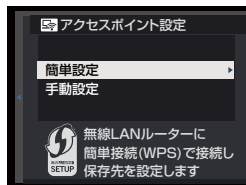
4 アクセスポイント設定を選びます。

IP アドレス設定を選ぶと任意の IP アドレスを設定できます。




5 簡単設定を選びます。

 手動設定を選ぶと手で無線 LAN ルーターを選んだり、無線 LAN ルーターの SSID を入力して設定することができます。



6 画面の指示にしたがって無線LANルーターを操作します。

 フォーカスレバーを上動かすと PIN コードが表示されます。PIN コードを無線 LAN ルーターに設定することでカメラを接続することもできます。

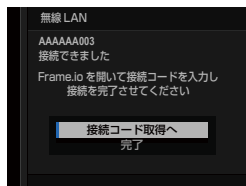


7 登録が完了したらMENU/OKボタンを押します。



- 8** 接続が完了したら接続コード取得へを選びます。

接続コードが表示されます。



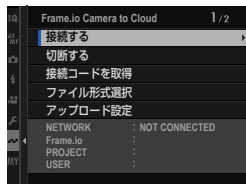
- 9** パーソナルコンピュータなどからFrame.ioへログインし、カメラに表示された接続コードを入力します。

- 10** Frame.ioにファイルを転送します。

有線 LAN で接続する

有線 LAN ケーブルで接続して Frame.io と接続できます。

- 1** カメラのLAN端子に有線LANケーブルを差し込み、ネットワークに接続します。
- 2** Frame.io Camera to Cloud > 接続するを選びます。



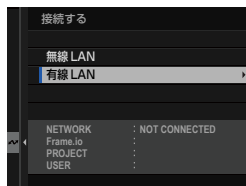
- 3** 新規作成を選んで通信セットを作成します。



すでに作成した通信セットを選ぶと、選んだ通信セットの選択や編集ができます。

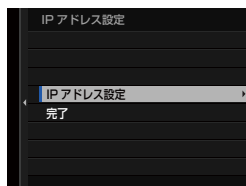


4 有線LANを選びます。



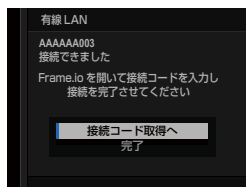
5 IPアドレスの設定方法を選びます。

- 自動を選ぶと、ネットワークから割り当てられた IP アドレスを使用します。
- 手動を選ぶと任意の IP アドレスを設定できます。



6 接続が完了したら接続コード取得へを選びます。

接続コードが表示されます。



7 パーソナルコンピューターなどからFrame.ioへログインし、カメラに表示された接続コードを入力します。

8 Frame.ioにファイルを転送します。

Frame.io Camera to Cloud

Frame.io に関するさまざまな設定ができます。

接続する

登録した接続セットを選び、Frame.io プロジェクトに接続できます。

切断する

Frame.io プロジェクトとの接続を解除して、ネットワーク接続を終了します。

接続コードを取得

Frame.io プロジェクトに接続するための接続コードを表示します。パーソナルコンピューターやタブレットからアクセスした Frame.io の画面に入力するとカメラと Frame.io をペアリングできます。

ファイル形式選択

転送するファイル形式を選択できます。ファイル形式ごとに ON と OFF を設定できます。

サブメニュー			
MOV - PROXY	MOV - ProRes	OTHER MOV/MP4	JPEG
RAW	HEIF	TIFF	

アップロード設定

Frame.io でファイルを転送するときの設定ができます。

画像を選択して転送

撮影したファイルを選んで転送予約できます。

撮影時 自動画像転送

ON にすると、撮影したファイルを自動的に転送予約します。

設定値	
ON	OFF

転送 / 一時停止

Frame.io への転送を一時停止したり、再開したりすることができます。

設定値	
転送	一時停止

電源 OFF 中の画像転送

ON にすると、カメラの電源をオフにしたときにファイルを Frame.io に転送します。

設定値	
ON	OFF

ルート証明書

Frame.io への接続に必要なルート証明書をカメラに設定できます。

サブメニュー	説明
記録メディアから 読込	メモリーカード内にあるルート証明書を読み込んで設定できます。
削除	設定されているルート証明書を削除できます。



ルート証明書の設定は、ネットワーク / USB 設定メニューの **FTP オプション設定** > **ルート証明書**と共通です。片方のルート証明書を変更すると、もう片方も変更されます。

アップロード状況

Frame.io へのファイルの転送状況を確認できます。

転送予約リスト

転送待ちのファイルを確認できます。

転送予約リセット

Frame.io へのすべての転送予約を解除できます。

リモート録画機能の表示画面

リモート録画機能の表示画面と各部の詳細については次の通りです。

画面のレイアウトはパーソナルコンピューターやタブレットの画面サイズなどによって異なります。

画面全体



⑫

シングル

⑫ 4画面表示ボタンが追加されました。ボタンを押すと画面表示が4分割され、複数のカメラのライブビューを同時に確認できます。

リモート録画機能メニュー

リモート録画機能の設定を変更できます。

ヒストグラムを表示

ヒストグラムの表示を隠したり表示したりを切り替えることができます。

マイクレベルを表示

マイクレベルの表示を隠したり表示したりを切り替えることができます。

ウェーブフォーム / ベクトルスコープを表示

ウェーブフォーム / ベクトルスコープの表示を隠したり表示したりを切り替えることができます。

ツールバーを表示

ブラウザのツールバーを隠したり表示したりを切り替えることができます。

クリーン表示モード

ライブビューのみを表示するクリーン表示モードに切り替えることができます。

画質優先で表示 / リアルタイム性優先で表示

ライブビューの表示方法を、画質優先 / リアルタイム性優先で切り替えることができます。



- 画質優先では、ライブビューの画質を最大にしますが、ライブビューに遅延が発生する場合があります。
- リアルタイム性優先では、ネットワーク環境によらずライブビュー表示の遅延を最小限にすることができます。

ライトモード/ダークモード

リモート録画機能画面のテーマカラーをライトモード/ダークモードで切り替えることができます。

カメラ接続を終了

「操作対象カメラ選択」で接続解除したいカメラのサムネイルをクリックまたはタップすると、接続を解除できます。

GFX100 II 使用説明書 : 322

Ver. 2.10

ファイル形式選択

転送するファイル形式を選択できます。ファイル形式ごとに ON と OFF を設定できます。

サブメニュー		
JPEG	RAW	HEIF

GFX100 II 使用説明書 : 336


Ver. 2.00

ファームウェアアップデート

メモリーカードに保存したファームウェアを使用して、カメラやレンズなどのファームウェアの更新ができます。

ファームウェアの更新

ファームウェアがアップデートされ、機能が追加／変更されたときはファームウェアを更新してください。

 最新のファームウェアに更新した場合、カメラの機能は本書に記載されている内容と一部異なる場合があります。

ファームウェアのダウンロード

あらかじめ最新のファームウェアをダウンロードして、メモリーカードに保存してください。ファームウェアのダウンロード方法などは下記ホームページをご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/firmware/cameras/>


ファームウェアの更新方法

ファームウェアは次の方法で更新できます。

カメラ起動時に更新する

新しいファームウェアが入ったメモリーカードをカメラに入れ、**DISP/BACK** ボタンを押しながらカメラの電源をオンにすると、ファームウェアを更新できます。更新が終わったらカメラの電源を一度オフにしてください。

セットアップメニューから更新する

新しいファームウェアが入ったメモリーカードをカメラに入れ、 **基本設定 > ファームウェアアップデート**を選んでファームウェアを更新できます。

スマートフォンアプリケーションを使用して更新する（手動更新）

スマートフォンアプリケーションを使用している場合は、スマートフォンアプリケーションからファームウェアを更新できます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

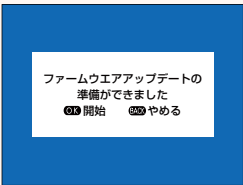
<https://fujifilm-dsc.com/>

スマートフォンアプリケーションを使用して更新する（自動更新）

FUJIFILM XApp Ver.2.0.0 以降を使用している場合は最新のファームウェアが自動的にスマートフォンからカメラにダウンロードされます。

1 カメラ使用時、更新の準備ができている場合は確認画面が表示されます。

開始を選びます。

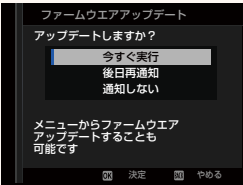


ファームウェアアップデートの
準備ができました
開始 やめる



やめるを選ぶと、翌日以降カメラの電源をオンにしたときに確認画面が再度表示されます。

2 選択画面が表示されたら今すぐ実行を選びます。



ファームウェアアップデート
アップデートしますか？
今すぐ実行
後日再通知
通知しない
メニューからファームウェア
アップデートすることも
可能です
決定 やめる



- 後日再通知を選ぶと、3 日後に確認画面が再度表示されます。
- 通知しないを選ぶと、確認画面は表示されません。

3 実行を選びます。

4 画面の指示にしたがってファームウェアを更新します。

5 更新完了の画面が表示されたらカメラの電源をオフにします。

- ❗ ファームウェアの更新作業には十分に充電したバッテリーを使用し、更新中は電源を切ったりカメラを操作したりしないでください。ファームウェアの更新中にカメラの電源が切れると、カメラが正常に動作しなくなるおそれがあります。
- ファームウェアの更新中は EVF は表示されません。液晶モニターの表示をご覧ください。
- ファームウェアの更新にかかる時間は、ファームウェアの容量によって変わります。最大で約 10 分かかる場合があります。
- ファームウェア更新後は、更新前のバージョンに戻すことはできません。
- ファームウェアの更新中にエラーメッセージが表示された場合は、下記をご覧ください。

<https://fujifilm-x.com/ja-jp/support/download/error-message/>

ファームウェアバージョンの確認方法


DISP/BACK ボタンを押しながらカメラの電源をオンにすると、バージョン情報が表示されます。

- ❗ バージョンの確認は、メモリーカードがカメラ内にある状態でないと確認できませんので、ご注意ください。

- 🔍 別売アクセサリ（交換レンズ、クリップオンフラッシュ、マウントアダプターなど）のファームウェアバージョンを確認するときやファームウェアを更新するときは、カメラボディに別売アクセサリを装着してから確認や更新を行ってください。

クイックメニューの割り当て変更







割り当て可能なメニュー（静止画）

- 画像サイズ
- 画質モード
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- D レンジ優先
- ホワイトバランス
- ホワイトバランス色温度（**K** 設定時）
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- 明瞭度
- 高感度ノイズ低減
- AF モード
- AF-C カスタム設定
-  顔検出 / 瞳 AF 設定
- 被写体検出 AF 設定
- MF アシスト
- タッチパネルモード
- セルフタイマー
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- 感度
- フラッシュ機能設定
- フラッシュ調光補正
- EVF/LCD 明るさ
- EVF/LCD 鮮やかさ
- なし



なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。

割り当て可能なメニュー（動画）

- フィルム シミュレーション
- ダイナミックレンジ
- ホワイトバランス
- ホワイトバランス色温度（ 設定時）
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- 高感度ノイズ低減
-  顔検出 / 瞳 AF 設定
- 被写体検出 AF 設定
- MF アシスト
- タッチパネルモード
- 測光
- 動画感度
- 動画フォーマット
- 動画モード 解像度 / アスペクト比
- 動画モード フレームレート
- ビットレート
- ハイスピード撮影
-  セルフタイマー
- 動画 AF モード
- 動画クロップ倍率固定モード
-  プレ防止モード
-  プレ防止モードブースト
- シャッタースピード
- 絞り（動画専用操作モード  ）
- ウェーブフォーム / ベクトルスコープ
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- タイムコード同期設定
- EVF/LCD 明るさ
- EVF/LCD 鮮やかさ
- なし



なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。

ファンクションボタンの割り当て変更

ファンクションボタンの割り当ては、**🔧 操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- 露出補正
- 画像サイズ
- 画質モード
- RAW
- フィルム シミュレーション
- グレイン・エフェクト
- カラークローム・エフェクト
- カラークローム ブルー
- スムーススキン・エフェクト
- ダイナミックレンジ
- D レンジ優先
- ホワイトバランス
- 明瞭度
- カスタム 1 設定呼び出し
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- AF モード
- AF-C カスタム設定
- 顔検出 ON/OFF
- 右目 / 左目切替
- 被写体検出 ON/OFF
- フォーカスリミッター
- フォーカスチェックロック
- MF アシスト ON/OFF
- セルフタイマー
- AE ブラケットング設定
- フォーカス BKT 設定
- 測光
- シャッター方式
- フリッカー低減
- フリッカーレス S.S. 設定
- 感度
- プレ防止モード
- 35mm フォーマットモード
- ワイヤレス通信
- フラッシュ機能設定
- TTL-LOCK
- モデリング発光
- ハイスピード撮影
- 📷 セルフタイマー
- 動画クロップ倍率固定モード
- ウェーブフォーム / ベクトルスコープ
- 📷 プレ防止モードブースト
- ゼブラ設定
- 冷却ファン設定
- 内蔵 / 外部マイクレベル設定
- 4ch 音声再生
- 動画専用操作モード 📷
- タイムコード同期設定
- サブ液晶モニター切替
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- ヒストグラム
- 電子水準器切替
- 情報表示拡大モード
- F-Log ビューアシスト
- コマンドダイヤルロック
- AE LOCK のみ
- AF LOCK のみ
- AE/AF LOCK

- AF-ON
- AWB LOCK のみ
- ロック指定
- パフォーマンス
- 撮影時 自動画像転送
- Bluetooth ON/OFF
- クイックメニュー
- 再生モード
- なし



なしを選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。

タッチファンクションの割り当て変更

タッチファンクションの割り当ては、**📄 操作ボタン・ダイヤル設定 > ファンクション (Fn) 設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- ・画像サイズ
- ・画質モード
- ・RAW
- ・フィルム シミュレーション
- ・グレイン・エフェクト
- ・カラークローム・エフェクト
- ・カラークローム ブルー
- ・スムーススキン・エフェクト
- ・ダイナミックレンジ
- ・D レンジ優先
- ・ホワイトバランス
- ・明瞭度
- ・カスタム 1 設定呼び出し
- ・フォーカスエリア選択
- ・フォーカスチェック
- ・AF モード
- ・AF-C カスタム設定
- ・顔検出 ON/OFF
- ・右目 / 左目切替
- ・被写体検出 ON/OFF
- ・フォーカスリミッター
- ・フォーカスチェックロック
- ・MF アシスト ON/OFF
- ・セルフタイマー
- ・AE ブラケットング設定
- ・フォーカス BKT 設定
- ・測光
- ・シャッター方式
- ・フリッカー低減
- ・フリッカーレス S.S. 設定
- ・感度
- ・ブレ防止モード
- ・35mm フォーマットモード
- ・ワイヤレス通信
- ・フラッシュ機能設定
- ・TTL-LOCK
- ・モデリング発光
- ・ハイスピード撮影
- ・📷 セルフタイマー
- ・動画クロップ倍率固定モード
- ・ウェーブフォーム / ベクトルスコープ
- ・📷 ブレ防止モードブースト
- ・ゼブラ設定
- ・冷却ファン設定
- ・内蔵 / 外部マイクレベル設定
- ・4ch 音声再生
- ・動画専用操作モード 📷
- ・タイムコード同期設定
- ・サブ液晶モニター切替
- ・被写界深度確認
- ・マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- ・ナチュラルライブビュー
- ・ヒストグラム
- ・電子水準器切替
- ・情報表示拡大モード
- ・F-Log ビューアシスト
- ・コマンドダイヤルロック
- ・ロック指定

- パフォーマンス
- 撮影時 自動画像転送
- Bluetooth ON/OFF
- クイックメニュー
- 再生モード
- なし



なしを選ぶと、タッチファンクションの割り当てはなくなります。

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

<https://fujifilm-x.com>

